



# SBSビジネスレポート

2015年12月期 第2四半期株主通信

2015年1月1日~2015年6月30日 証券コード:2384

## 特集

### SBSグループの不動産事業

## INDEX

ビジネスハイライト .....	01
社長メッセージ .....	02
特集 .....	03
ハイライト .....	05
トピックス .....	06
連結業績 .....	07
会社概要&株式の状況 .....	10

## SBSグループは、あらゆる物流ニーズに優れた品質でお応えします

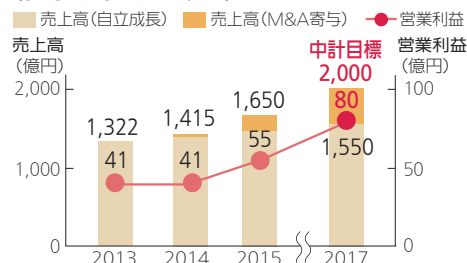
## 計画と実績

(単位:百万円)

	(第2四半期)		通期
	計画値	実績値	計画値
売上高	79,000	79,229	165,000
営業利益	1,500	1,788	5,500
経常利益	1,200	1,978	4,900
当期(四半期)純利益	1,900	2,033	3,800

## 中期経営計画

## 〈SBS Growth 2017〉



## 事業の概要



## 重点目標と戦略

3PL拡大と  
安定基盤(食品)確保  
**事業戦略**

アジアをターゲットに  
海外展開  
**海外戦略**

M&Aと  
物流施設開発  
**投資戦略**

**グループ経営基盤整備**

ローコストオペレーション体制～シナジーが発揮できる環境づくり

3つの戦略

業界トップグループをめざす

**全方位的  
物流機能を有する  
3PL企業集団**

※ 本レポートの将来の見通しに係わる記述には、現時点で入手可能な情報に加え一部将来の業績に影響を与える不確定な要素も含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

# 2015年上半期、 おかげさまで 上場来最高の 増収増益となりました

代表取締役社長 鎌田 正彦



中期経営計画「SBS Growth 2017」の2年目となる今年の上半期、SBSグループは新たに「営業力とブランド力の強化」を経営方針に加え、これまで以上に営業体制を強化しました。1月から4月にかけて営業組織の再編と拡大を行い、西日本にはグループ初となる本格的な営業拠点を開設するなど、お客様の期待に確実に応え得る組織体制を整えてまいりました。

海外では、昨年グループ入りしたトランスポール社を軸に、アトラス社など既存の海外子会社の再編に着手いたしました。トランスポール社は、近い将来アジア地域をはじめSBSグループの海外事業を展開する中心的役割を担うこととなります。そのために、同社が輸配送や物流センター運営などの物流ノウハウを持ち、質の高い3PLソリューションをご提供する総合物流企業へ進化するためのサポートを強力に推進してまいります。

不動産事業では、1月に横浜市緑区長津田に延床1万

4千坪の物流センターが竣工し、大手飲料メーカーの物流拠点として安定稼働中です。また3月には埼玉県所沢市で大手百貨店様専用の物流施設建設に着手、昨年12月から建設中の横浜市杉田の物流センターと合わせて、来春には2棟2万坪の物流スペースの稼働が控えています。既存施設の流動化も計画通り進行しており、投資と資金回収のバランスを取っております。

おかげさまで、当第2四半期は、以上のような事業活動が成果を上げたことに加えて原油安、為替差益などの好環境にも恵まれ、売上高、営業利益、純利益は上場以来の最高値となりました。SBSグループは、どのような環境の変化にも耐えうる圧倒的な営業力と現場力、そしてブランド力を築き、物流の改革者としてたゆむことない歩みを進めてまいります。株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# SBSグループの不動産事業

## 1 3PL事業と両輪で進める物流施設開発事業

SBSグループは、2005年から2007年にかけて行ったオフィスビルの仕入れと売却を通じて不動産の流動化ノウハウを内製化。以来約10年をかけて開発と流動化のバランスを均衡させるスキームを構築してまいりました。不動産と金融の高度な専門知識と豊富な経験を持つ専門チームが、営業部門や物流現場と密接な連携をとりながら開発を進めることにより、お客様にとって最適な物流施設開発が実現します。そして、このことが、SBSグループの3PL事業にとって大きな競争力の源泉となっています。

### ■ 施設開発実績推移



## 2 安定稼働の賃貸事業

### 建設中の施設



#### 横浜杉田物流センター(仮称)

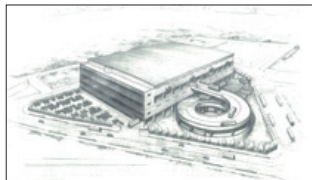
所在地: 横浜市磯子区  
敷地面積: 17,151㎡  
延床面積: 38,252㎡  
竣工予定: 2016年1月



#### 所沢新センター(仮称)

所在地: 埼玉県所沢市  
敷地面積: 27,463㎡  
延床面積: 38,252㎡  
竣工予定: 2016年3月

### 来期着工予定(計画中)



#### 大阪南港物流用地

所在地: 大阪市住之江区  
敷地面積: 24,859㎡  
用途地域: 準工業地域  
(建ぺい率60%/容積率200%)  
着工予定: 2016年



#### 渋谷新南口ビル

所在地: 東京都渋谷区  
敷地面積: 874㎡  
延床面積: 8,819㎡  
竣工: 2000年1月



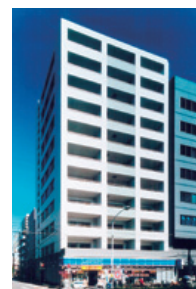
#### 南新宿SKビル

所在地: 東京都渋谷区  
敷地面積: 749㎡  
延床面積: 7,226㎡  
竣工: 1997年7月



#### サントコア神楽坂

所在地: 東京都新宿区  
敷地面積: 534㎡  
延床面積: 1,691㎡  
竣工: 2003年7月



#### ハイネストレジデンス

所在地: 東京都江東区  
敷地面積: 496㎡  
延床面積: 1,849㎡  
竣工: 2003年2月

### 不動産事業の業績推移

(単位: 百万円)

不動産事業	2012年度	2013年度	2014年度	当期計画
<b>売上高</b>	<b>2,504</b>	<b>5,554</b>	<b>5,103</b>	<b>8,300</b>
前期比	4.6%	121.8%	△8.1%	62.6%
賃貸事業	2,504	2,672	2,285	2,600
開発事業	0	2,881	2,818	5,700
<b>営業利益</b>	<b>1,206</b>	<b>2,550</b>	<b>2,359</b>	<b>3,000</b>
前期比	9.6%	111.3%	△7.5%	27.2%
賃貸事業	1,206	1,358	1,119	1,400
開発事業	0	1,191	1,240	1,600

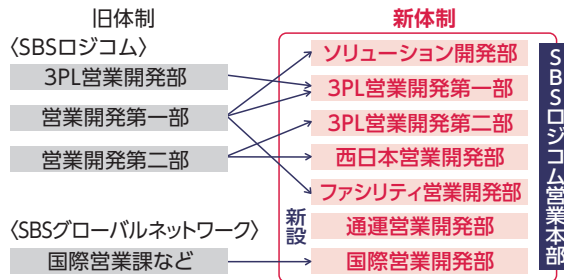
## 「営業力」「ブランド力」強化の取り組み

SBSグループでは、今期からグループ方針に「営業力とブランド力の強化」を加えて掲げました。お客様にとって最適なソリューションをご提案し、それを実現することで、お客様から選ばれる会社、そして人々が働きたい会社になることを目指しています。この方針に基づき、上半期は営業活動のみならず、現場運営のノウハウや専門性を業界や社会と共有する取り組みなどにも積極的にチャレンジいたしました。

### ■ 営業組織を一新

～営業組織を一新、国際営業を加え7部体制に～

SBSロジコムは、3PL事業のさらなる拡大を目指すため1月より営業組織の一新に取り組んでまいりました。3月に国際営業開発部を設置、4月から西日本営業開発部が始動したことで、従来の3部から7部体制へと営業組織の再編が完了しました。営業部員100名体制で、お客様の業種や提供するサービスに特化したチームを編成し、営業を展開します。



### ■ 広報誌「LOGILINK」を発行

～広報誌「LOGILINK(ろじりんく)」を創刊～

SBSロジコムは、組織による営業活動の強化と顧客接点の拡大の一環として、同社とお客様をつなぐ広報誌「LOGILINK」を創刊しました。同誌は、企業や団体、官公庁などの組織において物流に関わる責任者、担当者様を対象とし、物流のソリューション事例や最新情報をお届けする広報誌で、年4回発行します。



### ■ フォーラムへ出展

SBSグループの事業内容を広く認知していただくために、今期から各種フォーラムに出展を開始いたしました。4月には「インターペット2015」に、6月にはSBSロジコムとSBSホールディングスが協働し「アジア・シームレス物流フォーラム2015」に出展いたしました。両フォーラムとも、多くのお客様にご来訪いただき、新たなお引合いも多数頂戴することができました。



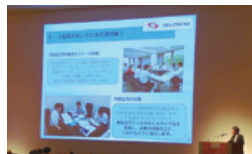
インターペット2015



アジア・シームレス物流フォーラム2015

### ■ 各種セミナーや研究会での講演活動

物流現場における長年の実務経験に基づいた高度な専門知識やノウハウを有する役職員は、フォーラムのセミナー、業界団体の研究会、大学のゼミなどへ積極的に登壇し、論文発表や事例紹介などを行っております。自らが持つ専門性を広く共有することで、暗黙知を形式知へ高めていこうという取り組みのひとつです。



「ヒヤリハット集」の活用事例を紹介  
SBSゼンツウ 執行役員 湯浅 優



「館内物流」の導入と運営のポイントを解説  
SBSロジコム 営業本部次長 三身直人



「低温物流」の品質管理、品質向上の事例紹介  
SBSフレック 営業統括部長 森田弘昭



## Gマーク認定取得率80%に

(SBSグループ)

1月

(社)全日本トラック協会が2014年12月に実施したGマーク制度2014年度安全性優良事業所の評価にて、新たに12事業所が認定を受け、これによりSBSグループのGマーク認定事業所数は107、取得率は、前年より2ポイント上昇し、80%になりました。これは、全国平均25%を大きく上回っています。



## 引越安心マークで 春の引越・移転需要にお応え

(SBSトランスポート)

1月

SBSトランスポートは、(社)全日本トラック協会が平成26年度に創設した引越事業者優良認定制度の事業者認定されました。安心・安全な引越サービスを提供する証となる「引越安心マーク」で引越やオフィス移転需要にお応えしています。



## 第3回生活物流部 ドライバーコンテストを開催

(SBSゼンツウ)

4月

SBSゼンツウは、第3回生活物流部ドライバーコンテストを開催。今回は、選手42名、役員105名、また、生活協同組合様から御来賓をお招きし、合計147名が参加。職場とお客様の期待を担った選手たちの熱戦が繰り広げられました。



## ドライバー採用強化に向け、 専門子会社が始動

(SBSロジコム)

5月

SBSロジコムは、業容拡大に伴い、トラックの輸送能力を大幅に高めるため「SBSロジコム南関東」および「SBSロジコム北関東」の2社を新設。トラックドライバーを正社員として雇用、人事制度を整備するなどして人材確保を進めています。

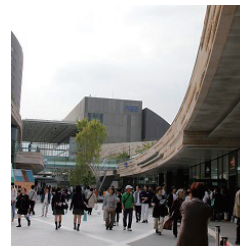


## 二子玉川ライズ・ 第2期事業の館内物流を受託

(SBSロジコム)

5月

SBSロジコムは、大型複合施設「二子玉川ライズ」の館内物流業務を2011年の開業時から受託・運営しており、今春開業した第2期事業エリアの館内物流も受託し、運営規模が12万㎡から27万㎡に拡大しました。



## センター出荷型ネットスーパーの 配送業務を開始

(SBSフレック)

6月

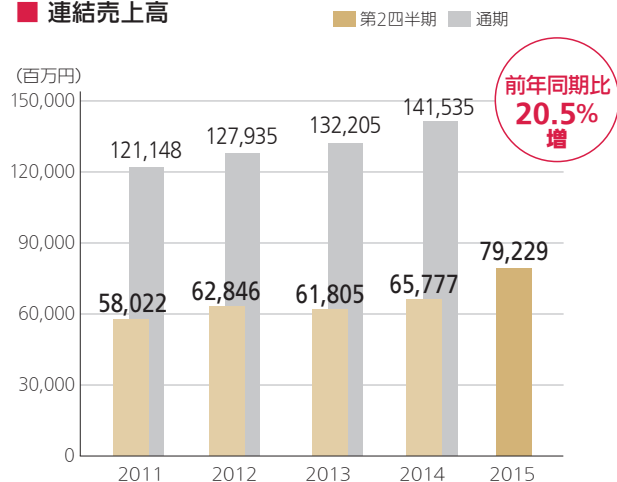
食品物流のSBSフレックは、大手総合スーパー・イオン様の調布センターからセンター出荷型のネットスーパー配送業務を受託。5月1日から本格稼働し、東京23区と都下の一部市域への配送を開始しました。



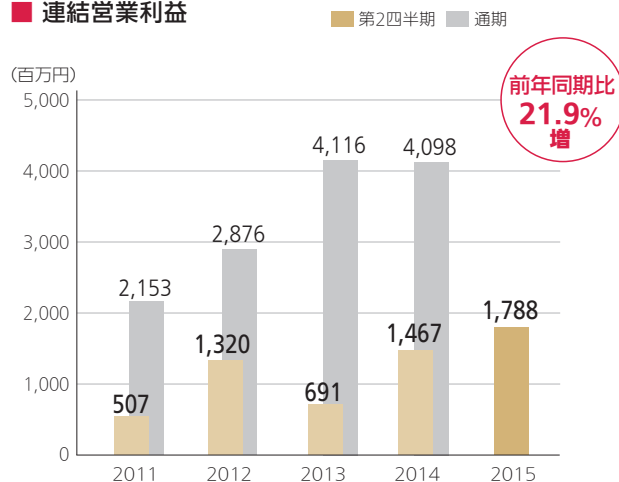
## 第2四半期の連結業績

SBSグループでは、2期目となる中期経営計画「SBS Growth 2017」に基づき、事業戦略、投資戦略にグループ一丸となって取り組みました。事業戦略では、営業組織を一新、新センターの立ち上げも計画どおり進めるとともに、海外拠点の再編にも着手いたしました。投資戦略では、大型物流センターが竣工、また、新たな物流施設建設にも取り組みました。これらの活動の積み重ねが奏功し増収増益となりました。

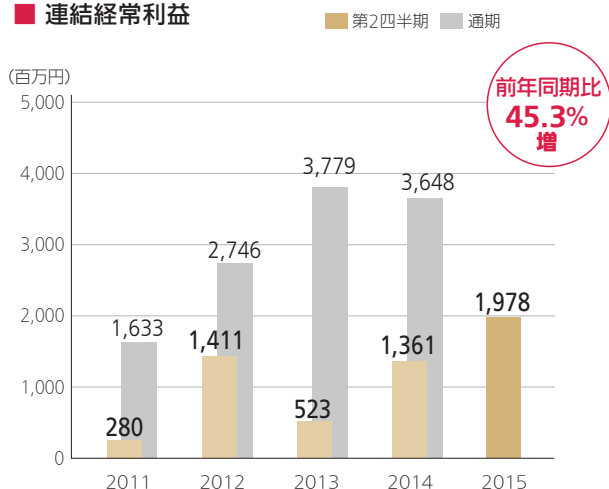
### ■ 連結売上高



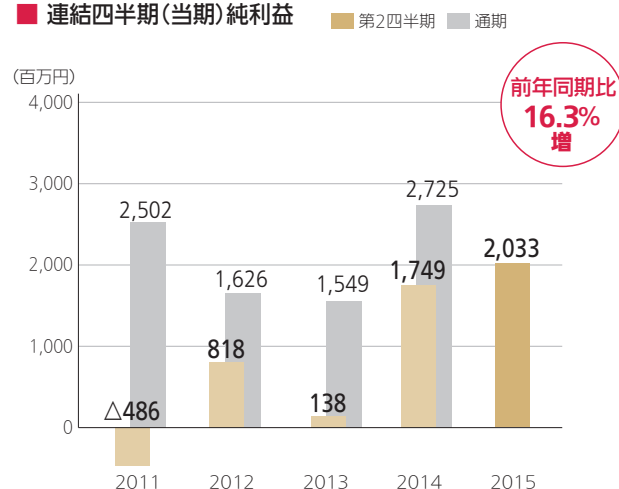
### ■ 連結営業利益



### ■ 連結経常利益



### ■ 連結四半期(当期)純利益





[セグメント別概要]

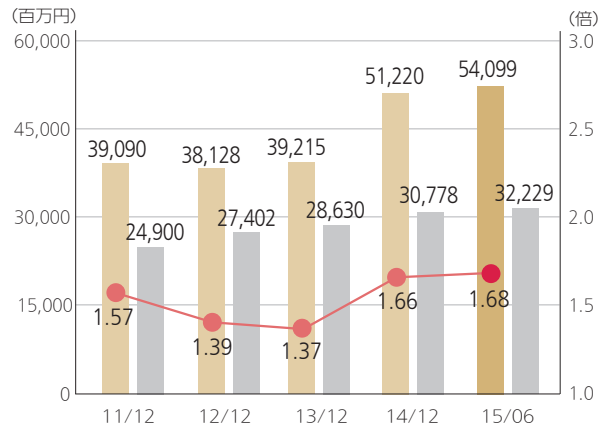
(単位:百万円)

	2015年第2四半期		2014年第2四半期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
物流事業	73,810	973	61,237	605
不動産事業	2,510	805	1,195	612
その他事業	2,908	125	3,344	171
調整後合計	79,229	1,788	65,777	1,467

- **物流事業**：小売業の一部や訪日客が増加した百貨店などで物量の増加があったことや、海外子会社が連結対象になったことなどから、売上高は増加しました。また備車費・人件費が増加しましたが、燃料価格が低下したことや値上げ効果などにより増益となりました。
- **不動産事業**：長津田物流センター（横浜市緑区）が1月から稼働を開始し賃料収入が増加しました。また、販売用不動産として保有していた所沢市の物流施設を売却したことで、増収増益となりました。
- **その他事業**：主力の人材事業で、派遣スタッフの登録人数が予定を下回り機会損失が発生しました。また、前連結会計年度にマーケティング事業の子会社を売却したため、減収減益となりました。

■ ネット有利子負債／株主資本／ネットDEレシオ(右軸)

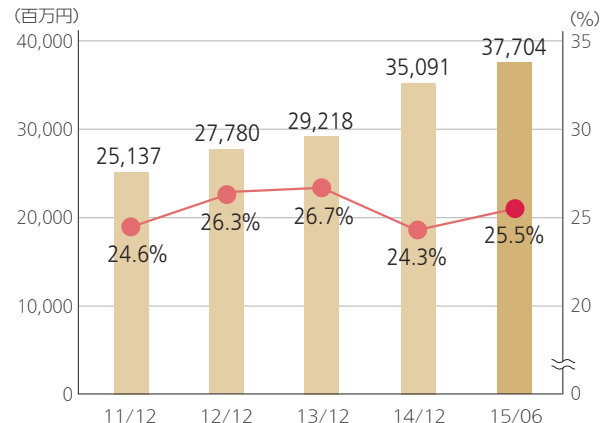
■ ネット有利子負債 ■ 株主資本 ● ネットDEレシオ



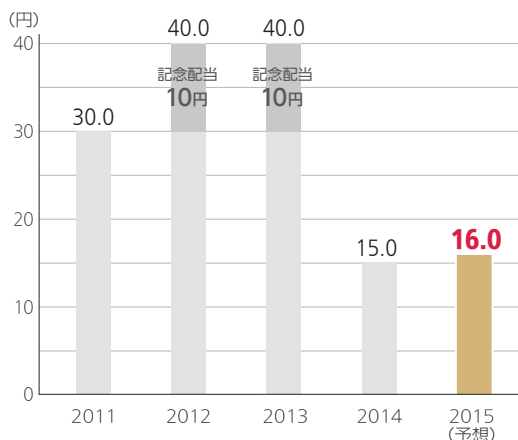
※ネット有利子負債＝長期・短期借入金＋社債－現預金  
 ※ネットDEレシオ＝ネット有利子負債÷株主資本

■ 純資産／自己資本比率

■ 純資産 ● 自己資本比率



## ■ 配当金の推移



※2014年6月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。  
 ※2012年の記念配当は、東京証券取引所市場第二部への上場を記念して実施したものです。  
 ※2013年の記念配当は、東京証券取引所市場第一部への上場を記念して実施したものです。

## 利益配分に関する基本方針

SBSグループは、株主の皆様への利益還元を経営の重要施策のひとつと位置付け、より強固な経営基盤を構築するため、内部留保の充実を図るとともに、継続的な配当維持と業績に応じた配当水準の向上に努めることを利益配分に関する基本方針としています。2015年12月期につきましては、1株当たりの配当金を16円とさせていただく予定です。

## 当期(2015年12月期)の連結業績予想

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (Forecast)

### 売上高

**165,000** 百万円 前期比 16.6% 増

### 営業利益

**5,500** 百万円 前期比 34.2% 増

### 経常利益

**4,900** 百万円 前期比 34.3% 増

### 当期純利益

**3,800** 百万円 前期比 39.5% 増

## ■ セグメント別

(単位:百万円)

	物 流	不 動 産	そ の 他	調 整 後 合 計
売 上 高	150,000	8,300	6,700	165,000
増減率	+15.5%	+62.6%	+2.3%	16.6%
営 業 利 益	2,100	3,000	400	5,500
増減率	+29.3%	+27.2%	+16.1%	34.2%
営 業 利 益 率	1.4%	36.1%	6.0%	3.3%

※業績予想の数値は、セグメント間の内部売上高を控除しております。

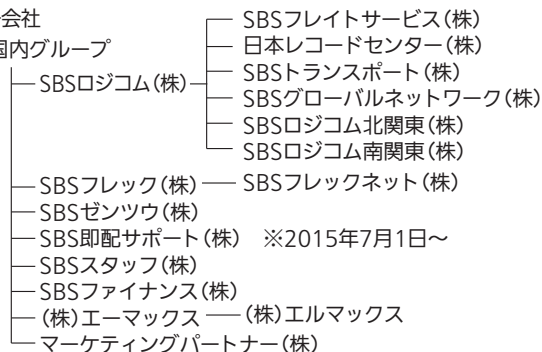
## ■会社概要

社名 SBSホールディングス株式会社  
 代表取締役 鎌田 正彦  
 創立 1987年12月16日  
 資本金 39億1,821万円  
 売上高 1,415億円(連結) ※2014年12月31日  
 所在地 〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3  
 TEL:03-3829-2222(代表)  
 FAX:03-3829-2822

事業内容 物流事業、不動産事業、マーケティング事業、人材事業 他

### 連結子会社

#### ■国内グループ



#### ■海外グループ



## ■役員

代表取締役 鎌田 正彦  
 常務取締役 入山 賢一  
 取締役 杉野 泰治  
 取締役 渡邊 誠  
 取締役 岩崎 二郎  
 取締役 関本 哲也  
 常勤監査役 山下 泰博  
 監査役 正松本 重孝  
 監査役 竹田 正人

※取締役のうち、岩崎二郎、関本哲也は社外取締役です。

※監査役のうち、正松本重孝、竹田正人は社外監査役です。

## ■株式の状況

発行可能株式総数 ..... 154,705,200株  
 発行済株式の総数 ..... 39,703,200株  
 単元株制度の有無 ..... 有(100株)  
 株主数 ..... 3,863名

## ■大株主の状況

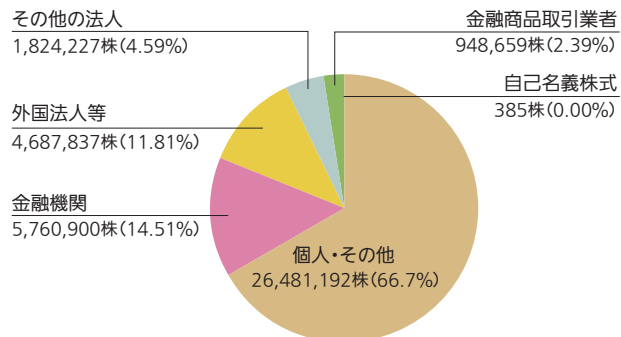
株主名	持株数	持株比率(%)
鎌田 正彦	17,888,400	45.05
SBSホールディングス従業員持株会	1,666,700	4.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,462,100	3.68
特定有価証券信託受託者 株式会社SMBC信託銀行	1,200,000	3.02
大内 純一	928,200	2.33
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	893,000	2.24
東武プロパティーズ株式会社	826,800	2.08
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	750,000	1.88
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	686,400	1.72
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	537,995	1.35

※日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)は、従業員持株会信託における再信託先であり、従業員持株会信託口が保有する当社株式404,200株を含んでおります。

※発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、少数第3位を切り捨てて表示しております。

## ■所有者別株式分布状況

(発行済株式総数: 39,703,200株)



## 株主メモ

事業年度 1月1日～12月31日

期末配当金受領株主確定日 12月31日

定時株主総会 毎年3月開催

株主名簿管理人及び  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
0120-232-711 (通話料無料)

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所 市場第一部

公 告 方 法 公告掲載URL <http://www.sbs-group.co.jp/>

※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に  
公告いたします。

### 【ご注意】

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3 オリナスタワー  
TEL:03-3829-2222 (代表) FAX:03-3829-2822

